

昭和五十三年 佐伯史談

総目次 (第二二一一六号)

清州佐伯村お風呂書
第一第十九回 潤揚田少史

戊申 潤揚田賣と云の後 吉藤田太

佐伯史談会発足三十周年 竹内義吉

わがふるさと元用基 (1) 市原誠仁

112 113 114 115

(学校の歴史と災害)
(元田の教育地)

113 114 115 116

思ひ出の食文化 (キノコ)
お小こら不味・佐伯の味

113 114 115 116

南朝の「宮」と佐伯地方
御幸洗一而

112 113

國書館と資料館 (1) 羽柴弘

112 113 114 115

佐伯都帝としての前進を望む
(元田の教育地)

113 114 115 116

國書館と資料館 (2) 羽柴弘

113 114 115 116

國尾物語 (1) 羽柴弘

112 113

國尾物語 (2) 羽柴弘

112 113 114 115

佐伯の開拓史 (1) 羽柴弘

113 114 115 116

佐伯の開拓史 (2) 羽柴弘

113 114 115 116

國尾物語 (3) 羽柴弘

112 113

國尾物語 (4) 羽柴弘

112 113 114 115

佐伯の開拓史 (3) 羽柴弘

113 114 115 116

國尾物語 (5) 羽柴弘

113 114 115 116

國尾物語 (6) 羽柴弘

112 113

佐伯唯治と二田井久文神唯治 法賜實 (1)

112 113 114 115

佐伯唯治と二田井久文神唯治 法賜實 (2)
(元田の教育地)

113 114 115 116

佐伯唯治と二田井久文神唯治 法賜實 (3)
(元田の教育地)

113 114 115 116

佐伯唯治と二田井久文神唯治 法賜實 (4)
(元田の教育地)

112 113

佐伯と国木田独歩 (1) 山内武興

112 113 114 115

佐伯と国木田独歩 (2)
(元田の教育地)

113 114 115 116

佐伯と国木田独歩 (3)
(元田の教育地)

113 114 115 116

佐伯と国木田独歩 (4)
(元田の教育地)

112 113

想夫恋 (1) 高木嘉吉

112 113 114 115

想夫恋 (2) 高木嘉吉

113 114 115 116

想夫恋 (3) 高木嘉吉

113 114 115 116

想夫恋 (4) 高木嘉吉

112 113

御園藝場遊年旅行 (1) 清田義雄

112 113 114 115

御園藝場遊年旅行 (2) 清田義雄

113 114 115 116

御園藝場遊年旅行 (3) 清田義雄

113 114 115 116

御園藝場遊年旅行 (4) 清田義雄

112 113

御土史八カ六年 (1) 岩心遠大限 大陽

112 113 114 115

御土史八カ六年 (2) 岩心遠大限 大陽

113 114 115 116

御土史八カ六年 (3) 岩心遠大限 大陽

113 114 115 116

御土史八カ六年 (4) 岩心遠大限 大陽

112 113

吉田豪作 (1) 田中久保正尾

112 113 114 115

吉田豪作 (2) 田中久保正尾

113 114 115 116

吉田豪作 (3) 田中久保正尾

113 114 115 116

吉田豪作 (4) 田中久保正尾

112 113

詩人教育力士 刷君風 (別寄梅木幸吉)

112 113

詩人教育力士 刷君風 (別寄梅木幸吉)

113 114 115 116

詩人教育力士 刷君風 (別寄梅木幸吉)

113 114 115 116

詩人教育力士 刷君風 (別寄梅木幸吉)

112 113

(119-29)

期日 今秋十月十六日(朝六時 大手前発)

廿七日

西中國山口・萩・津和野へ 二泊三日の旅

佐伯史談会・秋の研修

早春の現地研修

- (119-30) —————
 ①新春初夢まで津久見市へ
 ②一月木八日萩野から井崎へ

④福田寺を訪う

百濟の都跡余を六十畳で吉森田太

盛夏三重町の文化財探訪の記

(追憶記)長良貝塚の調査

二十年前の佐伯史談会

四四一周の旅止

私の靈場巡拝記

中間訪問記 第二回

主として豊島郡の跡について

吉森田雅記(その二) 羽柴弘

古墳あれこれ

吉江高山海岸

吉田勝一

——

——

思い出のわらべ歌

平川哲也

城山の蝶き風うべ 小野鶴雄

千葉市より房総の書展

小野鶴雄

六八一年高江トガ山の櫻花祭第五回

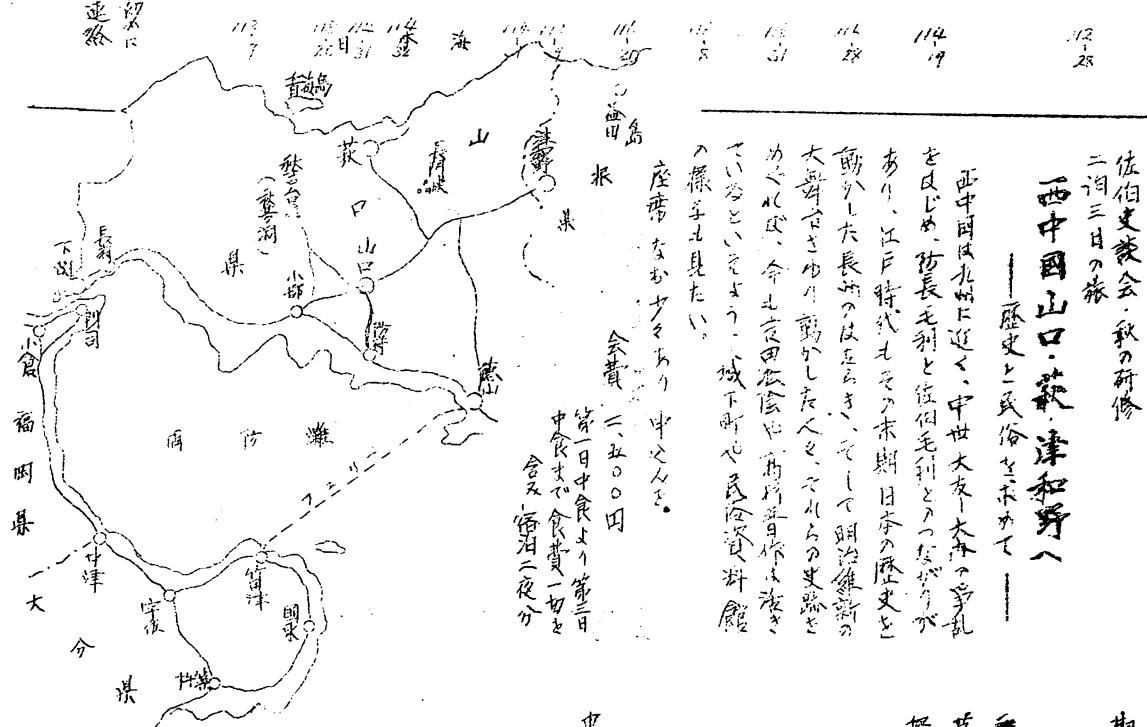
八事務局より

右ノ五十三年終日火、賛年度の歴りの初火

つけたハ方方ために別刷二〇枚程あり、速送

下されば差しあげます。(次号同送)

——



112
28

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

114
19

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

113
7

此中間は九州に進く、中世大友・木村・室町
をはじめ、後醍醐天皇と佐伯毛利との争が
あり、江戸時代もそつと末期日本の歴史を
駆けめぐる長崎のはじまり、そして明治維新の
大変な苦難を経て駆けめぐる人々、それらの史跡を
めぐらして、今はまだ城下町化民謡資料館
入様手を見たい。

——歴史と民俗をみて——

此中間は九州に進く、中世大友・木村・室町
をはじめ、後醍醐天皇と佐伯毛利との争が
あり、江戸時代もそつと末期日本の歴史を
駆けめぐる長崎のはじまり、そして明治維新の
大変な苦難を経て駆けめぐる人々、それらの史跡を
めぐらして、今はまだ城下町化民謡資料館
入様手を見たい。

募集人員 四十九名
探訪地(見学及客)
1. 平岡・山口・津和野・萩・秋吉台・德山
2. フニリー竹田津 1カコース
3. 萩野・萩原・萩原資料館・歴史博物館
4. 山口・奥小國・萩原資料館・歴史博物館
5. 津和野・曲延・萩原資料館・歴史博物館
6. 萩・松下村塾・東光寺・萩原屋敷・御神池
7. 秋吉台・萩芳洞・萩吉台・科学博物館

福有・防有・天保窓・毛利邸

萩・萩原・萩原資料館・歴史博物館

乗物 大分バス(大型觀光車)

廿八日(ア方七時帰着)

廿九日(ア方七時帰着)

三十日(ア方七時帰着)

卅一日(ア方七時帰着)

卅二日(ア方七時帰着)

卅三日(ア方七時帰着)

卅四日(ア方七時帰着)

卅五日(ア方七時帰着)

卅六日(ア方七時帰着)

卅七日(ア方七時帰着)

卅八日(ア方七時帰着)

卅九日(ア方七時帰着)

四十日(ア方七時帰着)

四十日(ア方七時帰着)

四十日(ア方七時帰着)

四十日(ア方七時帰着)

四十日(ア方七時帰着)

四十日(ア方七時帰着)

四十日(ア方七時帰着)

募集人員 四十九名

探訪地(見学及客)

1. 平岡・山口・津和野・萩・秋吉台・德山
2. フニリー竹田津 1カコース
3. 萩野・萩原・萩原資料館・歴史博物館
4. 山口・奥小國・萩原資料館・歴史博物館
5. 津和野・曲延・萩原資料館・歴史博物館
6. 萩・萩下村塾・東光寺・萩原屋敷・御神池
7. 秋吉台・萩芳洞・萩吉台・科学博物館

福有・防有・天保窓・毛利邸

萩・萩原・萩原資料館・歴史博物館

萩・萩原・萩原資料館・歴史博物館